

性能試験成績証明書

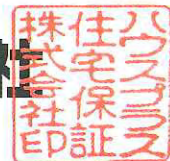
試験結果より当該申請金物が平成12年建設省告示1460号第2号表3に定めるもの※（必要耐力10.0kN）と同等以上の基準耐力を有することを認める

※（へ）厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト2本、横架材、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの

試験名称	耐力壁が取り付く柱の仕口（中柱型）引張試験
依頼者	株式会社 カナイ 所在地 : 埼玉県八潮市西袋717-1 連絡先 : 048-924-1131
試験体	1. 接合金物 商品名 : フリーダムコーナーG 寸法 : 図2.1、図2.2参照 材質 : SGHC Z27 (JIS G 3302) 2. 接合具 柱側木ねじ : 3#角ビット鋼スクリュー $\phi 6.0 \times 45$ 5本 横架材側木ねじ : 3#角ビット鋼スクリュー $\phi 6.0 \times 120$ 2本 材質 : SWRCH22A (JIS G 3507) 3. 使用軸組 柱 : $105 \times 105 \times 600$ mm 横架材 : $105 \times 105 \times 800$ mm 4. 試験体数 : 7体（うち1体は予備試験体） 試験体の形状・寸法は図3.1、図3.2参照
試験方法	「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」に基づく （監修：国土交通省住宅局建築指導課，国土交通省住宅局木造住宅振興室）
試験結果	短期基準接合耐力 10.7kN
試験実施日	平成15年 8月1日、4日
担当者	研究員 中山一孝 技術員 木下 茂 技術員 亀山ジョージ 技術員 千葉 博
試験実施場所	電源開発株式会社 技術開発センター 茅ヶ崎研究所 建設材料実験棟
備考	・土台の固定位置は、柱芯から片側一方を200mm、他方を400mmとしている（図2.1） ・金物の土台への接合は、構造用合板JAS特類2級30mmを介している（図2.1）
証明書発行番号	HP03-KT011
証明書発行年月日	平成15年 8月20日
証明書発行者	ハウスプラス住宅保証株式会社 （国土交通大臣指定住宅性能評価機関第16号） … （国土交通大臣指定確認検査機関第9号）



ハウスプラス住宅保証株式会社



性能試験成績証明書

試験結果より当該申請金物が平成12年建設省告示1460号第2号表3に定めるもの※（必要耐力10.0kN）と同等以上の基準耐力を有することを認める

※（へ）厚さ3.2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト2本、横架材、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの

試験名称	耐力壁が取り付く柱の仕口（中柱型）引張試験
依頼者	株式会社 カナイ 所在地 : 埼玉県八潮市西袋717-1 連絡先 : 048-924-1131
試験体	1. 接合金物 商品名 : フリーダムコーナー F-C6 寸法 : 図2.1、図2.2参照 材質 : SPHC (JIS G 3131) t=4.5 表面処理 : ダクロイスト処理 7μ 2. 接合具 木ねじ : 3#角ビット皿スクリュー 柱側φ6.0×45mm 5本 土台(横架材)側φ6.0×120mm 2本 材質 : SWRCH22A (JIS G 3507) 表面処理 : 柱側 ダクロイスト処理 土台(横架材)側 ラスパート(シルバーレッド) 3. 使用軸組 柱 : 105×105×600mm すぎ 土台(横架材) : 105×120×1000mm すぎ 4. 試験体数 : 7体(うち1体は予備試験体) 試験体の形状・寸法は図3.1、図3.2参照
試験方法	「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」に基づく (監修: 国土交通省住宅局建築指導課, 国土交通省住宅局木造住宅振興室)
試験結果	短期基準接合耐力 13.9kN
試験実施日	平成17年 8月 3日
試験実施場所	電源開発株式会社 技術開発センター 茅ヶ崎研究所 建設材料実験棟
担当者	研究員 中山一孝 試験員 伊藤和幸 試験員 菅原佳喜 試験員 鈴木香澄
備考	

証明書発行番号	HP05-KT024
証明書発行年月日	平成17年 8月23日
証明書発行者	ハウスプラス住宅保証株式会社 (国土交通大臣指定住宅性能評価機関第16号) (国土交通大臣指定確認検査機関第9号)



ハウスプラス住宅保証株式会社

